

じんしんせい

「人新世」の時代に 「東洋思想」からの提言

いま、地球及びそこで暮らす全生物は、歴史的な存続の危機に直面している。

この危機を回避し、解消する一助として「東洋思想」の知見を提供するものである。

この危機の発端に、「近代西洋思想」に対する過度の信頼と行き過ぎた欲望の追求による弊害を認めざるを得ない。

地球と自然環境に対する過剰な負荷の始まりは、産業革命以降であることは、多くの統計が立証している。

私の言う東洋思想とは、「儒教・仏教・道教・禅・神道」、

我が国日本に8世紀以上の長きにわたって蓄積されてきた知的資源のことである。

一刻も早く地球上の人々が、この東洋思想の知見を取り入れ、

近代西洋思想一点張りの思考と行動を是正し、転換してくださることを念願とするものである。

田口佳史 NEWSLETTER

絶賛配信中

MESSAGE

積水成淵 sekisuisseien

このニュースレターは
小さな初めの一步かもしれませんが、
多くの方々にご理解・ご賛同・ご協力頂きながら、
近い将来には皆で力を合わせそれらの危機を回避し得る
ような大きなうねりとなることを切に願っております。

✉ ニュースレターのご登録はこちら
<https://www.tao-club.net/newsletter/>



詳細・ご登録方法は次ページでもご確認いただけます

東洋思想研究家

田口佳史

YOSHIFUMI TAGUCHI



PROFILE

1942年(昭和17年)生まれ。
東洋思想研究家。指導者学推進者。株式会社イメージプラン代表取締役会長。
一般社団法人東洋と西洋の知の融合研究所所長。

大学卒業後、日本映画新社に入社。映画『東京オリンピック』ではチーフ監督を務めた。
25歳の時、バンコク市郊外の農村で撮影中、突然水牛2頭に襲われ、瀕死の重傷を負うも奇跡的に生還。その入院中の老荘思想との運命的な出会いが、東洋思想研究家へと歩み出す契機となった。主な著書『佐久間象山に学ぶ大転換期の生き方』『横井小楠の人と思想』『超訳 孫子の兵法』など多数。「東洋思想(儒・仏・道・禅・神道を有機的に融合させた思想や哲学)」を基盤とする独自の経営思想体系「タオ・マネジメント(東洋思想的経営論)」を構築・実践、数多くの企業経営者と政治家を育成。社会人教育に関しては、延べ1万名(2000社)を超える提供・支援実績を有する。

ニュースレター概要

配信

2023年9月25日を初回とする毎月25日午前10時00分
インターネットによる配信となります。

※配信期間：2023年9月～2024年2月【6ヶ月間】

過去の配信実績は次のページをご覧ください

ボリューム

4,000字程度【日本語版】

※及びその英訳版・中国語訳版

会費

月額3,000円(税込)

※6ヶ月分の会費「18,000円(税込)」を、前払いにてお支払い。

支払方法

クレジットカード、または銀行振込



その他特典

ニュースレターご購入者向けに「東洋思想フォーラム」(年1回)、
「東洋思想コミティー」(年数回)(ともにZOOMオンラインセ
ミナー形式)を定期的を開催【参加無料】。

特典の詳細は次のページをご覧ください

田口佳史 ニュースレター

YOSHIFUMI TAGUCHI'S NEWS LETTER

田口佳史ニュースレター【サンプル】

「徳」について

「徳」は、東洋思想の根幹を為す概念である。

宇宙の大義にかなったものといわれている。

「宇宙の大義」とは何か。

宇宙を儒家では「天」というが、天には天としての“仕組み”や
“きまり”がある。これらは順なる天の営み、例えば天は、天地
創造以来一刻の休みもなく万物を「生成化育」している。これ
があるからこそ我々は生まれ、生きていられるのであるが、こ
うした順なる営みは、天の“仕組み”や“きまり”があるからこそ
続けられているのだ。

この“仕組み”や“きまり”を「法則」といい、「天の法(のり)、宇
宙の法(のり)」という。

通常我々は、自国の法律に則(のっ)って暮している。反す
れば罰せられる。この自国の法律の上位にあるのが、宇宙の
法といえる。

時には自国の法律より、余程こちらの宇宙の法の方が、我々の
人生、運命を左右することさえあるのだ。

宇宙の法に則ることを「宇宙の道理、天の道理」という。

更にいえば、道理に則った社会をつくり、……

ご登録方法



【田口佳史NEWS LETTER】

ご登録はこちら

アクセスできない場合は、下記URLをコピーしてください

<https://www.tao-club.net/newsletter/>

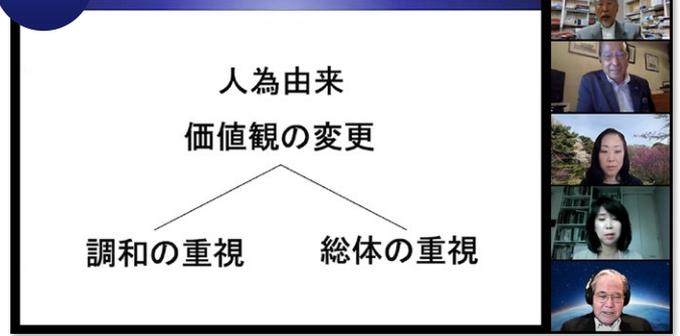
皆さまのご登録をお待ちしています。

YOSHIFUMI TAGUCHI'S NEWS LETTER

「共創の場」の提供

ニュースレターご購読者の皆様との「共創の場」として、定期的に「東洋思想フォーラム」、「東洋思想コミッティー」（ともにZOOMオンラインセミナー形式）を開催しております。

YOUTUBEチャンネルで過去の映像をご覧ください 



第1回 東洋思想フォーラムの様子(画面はイメージです)

【東洋思想フォーラム 開催実績】

(2022年5月～)

- 第1回 東洋思想フォーラム (2022年5月28日)
基調講演: 田口 佳史
『『人新世』の時代に—『東洋思想』からの提言』
パネリスト (五十音順)
・有馬 利男氏 (一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 代表理事)
・木山 啓子氏 (特定非営利活動法人ジェン (JEN) 理事・事務局長)
・大門 小百合氏 (ジャーナリスト / 元ジャパンタイムズ執行役員)
・高橋 一生氏 (アレキサンドリア図書館顧問 / 元国際基督教大学教授)
- 第2回 東洋思想フォーラム (2023年5月27日)
パネリスト (五十音順)
・尾崎 哲 大使 (駐リトアニア共和国日本大使館 特命全権大使)
『リトアニアからの報告—学びの日々—』
・高橋 一生氏 (アレキサンドリア図書館顧問 / リベラルアーツ21代表幹事)
『長期化するグローバルな複合危機と世界文明転換のとは口; 東洋思想の出番』
- 第3回 東洋思想フォーラム (2024年5月 開催予定)

【東洋思想コミッティー 開催実績】

(2022年10月～)

- 第1回 (2022年10月29日) 基調講演: 田口 佳史
テーマ「問題は何か。問題の核心に何かがあるのか」
- 第2回 (2022年11月26日) 基調講演: 田口 佳史
テーマ「解決策は何か。解決の要点は何か」
- 第3回 (2022年12月24日) ゲスト: 有馬 利男氏 (一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 代表理事)
テーマ「地球温暖化とSDGs」
- 第4回 (2023年1月28日) ゲスト: 瀧口 清之氏 (一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
テーマ「東洋思想に基づく世界秩序形成の安定化」
- 第5回 (2023年2月25日) ゲスト: 木山 啓子氏 (特定非営利活動法人ジェン (JEN) 理事・事務局長)
テーマ「国際支援の現場から～東洋思想に支えられて」
- 第6回 (2023年3月25日) ゲスト: 大門 小百合氏 (ジャーナリスト/元ジャパンタイムズ執行役員)
テーマ「日本と世界の報道のはざまで感じた東洋思想」
- 第7回 (2023年4月22日) 基調講演: 田口 佳史
テーマ「まとめ」
- 第8回 (2023年9月30日 開催予定)

これまでの配信実績

【2021年度版 配信実績】

(2021年3月～2022年2月)

- 1. 『徳』について
- 2. 『生命論』について
- 3. 『陰陽』について
- 4. 『自然』について
- 5. 『人間』とは何か
- 6. 『欲望』について
- 7. 『大転換』とは (その一)
- 8. 『大転換』とは (その二)
- 9. 『戦争』について (その一)
- 10. 『戦争』について (その二)
- 11. 『戦争』について (その三)
- 12. 『新しい時代』について (その一)

【2022年度版 配信実績】

(2022年3月～2023年2月)

- 13. 『新しい時代』について (その二)
- 14. 『リーダーシップ』について (その一)
- 15. 緊急提言『何故東洋思想は戦争を嫌うのか』
- 16. 『リーダーシップ』について (その二)
- 17. 『死』について
- 18. 『老荘思想』から見た世界の現状
- 19. 『世界が本来の姿を取り戻すために』 (その一)
- 20. 『世界が本来の姿を取り戻すために』 (その二)
- 21. 『世界が本来の姿を取り戻すために』 (その三)
- 22. 『教育とは何か』 (その一)
- 23. 『教育とは何か』 (その二)
- 24. 『教育とは何か』 (その三)

【2023年度版 配信実績】

(2023年3月～)

- 25. 『調和について』 (その一)
- 26. 『調和について』 (その二)
- 27. 『調和について』 (その三)
- 28. 『自他非分離』について (その一)
- 29. 『自他非分離』について (その二)
- 30. 『自他非分離』について (その三)

【田口佳史NEWS LETTER】

ご登録はこちら 

アクセスできない場合は、下記URLをコピーしてください

<https://www.tao-club.net/newsletter/>

「これぞ、東洋思想の本質」

ご購入の方々からたくさんのお声をいただいています。(順不同)

桂 良太郎氏

桂化学株式会社 代表取締役

経営現場で起きる問題や会社の方向性などを深く考える際、幾度となく読み返しておりますが、考える度に問題解決に具体的に直結するような内容であることに深く感謝しております。また、仕事以外でも家族や友人との関係を考える上で多くの事を学ばせていただいていると実感しております。

日高 敏明氏

株式会社日高商店 会長

現在の諸問題は、近代西洋思想の元に展開された資本主義経済が引き起こしている。それを東洋思想で、育むことで解決策を見出ししている。日本は、自然と共生して生きてきた唯一の国家である。その思想を世界の国々に伝えることで、戦争などでなく平和的に調和した世の中に移行できるのではないかと。

鏡 久賀氏

ニュースレターは、東洋思想の叡智をもって、地球環境危機・頻発する国際紛争といった諸課題の回避、解消を図ろうとする。儒教・仏教・道教・禅・神道が8世紀以上蓄積された日本で生み出された縦横無尽な思考。近代西洋思想批判でなく、東洋思想礼賛でもない。空論ではないリアリズム。東洋と西洋の知の融合によって明日をつくという志に、勇気づけられる思いである。

吉田 有氏

Zentレプレナー研究所 代表

東洋思想という切り口から、今我々が大きな時代の大転換期にいることを知ることができ、それに対してこれからのような考え方で対応していけばいいかを学ぶこと、自身の軸を確立できています。そして、東洋思想を受け容れ育んできた日本の風土や文化のすばらしさを再認識すると同時に、日本人であることの誇りを感じるのが喜びです。

金井 浩氏

会社員

ニュースレターには困難な時代を生きるヒントがあると思いつきながら読んでいます。仕事で苦勞している状況が続いているのですが、何か打開するヒントが見つからないかと思いつき読んでいます。人生で大切な事を教えていただいているような気がします。

雑賀 日出夫氏

株式会社Pride of JAPAN 代表取締役

公私共に大きな変化に遭遇しています。動揺することなく乗り越えられているのは「ニュースレター」の存在があるからです。①ワンテマ、10分程度で読める手軽さでありながら、②東洋思想で最高智である深遠さ。③スマホで何度も読み返すことができます。読む度に自分の規範が太くなっている気がします。

山村 弘氏

長野県坂城町長・元杉並師範館塾長

20数年前にシリコンバレーで会社経営に携わっていた頃、9・11に遭遇し、サミエル・ハンチントンの「文明の衝突」が現実目の前に起きてしまったのだという衝撃を受けましたが、その後もますます分断が広がるばかりです。この唯一の解決策は、田口哲学の実践に他ならないと思っています。これからも、田口先生のニュースレターに期待します。

吉江 則子氏

元富士ゼロックス株式会社(現富士フイルムビジネスソリューション株式会社) CSR部長

効率優先で格差や分断を拡大し続ける資本主義に対する懐疑が世界中で高まる中、私も一人の生活者としてこれまでの効率や個人偏重を超えたところに心の拠り所を求めたいという思いを深くしている。この問いに対して田口先生のニュースレターは東洋思想の本質を縦横無尽に解き明かして下さることにより、みなが活潑澄澄で生きられる社会をつくるために小さな一歩でもいいから自分に何が出来るかを考える機会を与えてくださる。

尾崎 哲大使

駐リトアニア共和国日本大使館 特命全権大使

先生のニュースレターは内外への発信として練られており、英語を含む自身の発信の機会に、ニュースレターのフレーズや論旨を参照できることがとても有り難いと思っております。読者に求められる行動のひとつも「語り広めること」と理解しております。特に、人間とは何か、どうあるべきか、という本質において、今だからこそ紐解くべき様々な知見が、東洋に、そして日本に存在していたことに面白さを感じております。

田中 朗子氏

製造業 研究開発部門所属 執行役員

田口先生のニュースレターのありがたいところは、何と云っても東洋思想の実践を教えてくださいるところです。現代・現世での事件・現象への処方方を東洋思想の実践者(例えば石田梅岩)の行動や著作物の内容から平易な言葉で解説し、私が日常で実践できるように具体的に示してくださっています。化学には応用化学があるように、物理には応用物理があるように、ニュースレター(メルマガも!)を東洋思想の「応用と実践のヒント集」として大切にしています。

松浦 弘昌氏

コンピ株式会社 取締役会長

今、田口先生の2講座に参加させていただいております。重ねて受講することにより、より、理解が深まったり、心に浸透したりするという点で、ニュースレターももう一つの講義のような感じで読ませていただいております。

井上 誠一氏

富士製薬工業株式会社 常勤監査役

田口先生のグローバルな事案を東洋思想の観点から解説頂く点に魅かれております。「東洋と西洋二つの半球が一体となって初めてグローバルになる。両者は実に最適な相互補完関係にあるパートナーなのだ。」という考え方が、我々企業人が個別の事案に立ち向かう際、物凄く参考になっております。

相馬 陽胤氏

株式会社日本メディカルプロパティマネジメント 代表取締役社長
九州アジア経営塾 十期生

私は月に一度受け取るニュースレターを自分自身に引寄せ、向き合う時間を設けています。西洋思想・哲学が与えてくれる知識とは異なり、東洋思想は知識を得るだけではなく心に落とし込み実践に繋がらなければ、社会に還元できないと認識しております。今起きていることを憂えているだけでなく微力であっても次世代の為に行動を起こし続けるには東洋思想が大変有用だと感じています。

徳本 達郎氏

株式会社ジャクエツ 代表取締役社長

認知能力と非認知能力という、ここでも対極を併せ持つ考え方が必要ですが、これらの学びのヒントを田口先生のニュースレターの中で学ばせていただいております。東洋は全てを2軸で捉えるのではなく、分けずに一体として捉える考え方が大事であり、調和させることこそ、これからのリーダーに求められる様に感じています。西田幾多郎の絶対矛盾的自己同一について、ヘーゲルの弁証法としてのアウフヘーベンについての違いについてなど、大きな学びをいただいております。

鈴木 昌子氏

株式会社リンクアーツ 代表取締役

ニュースレターは刺激的! 最新号のVol28を読み、石田梅岩を学び始め、とても驚きました。彼は儒学者というより経済学者で、同時代アダム・スミスが市場は「私欲」で行動しても、「見えざる手」に導かれるとしているのに対し、経済は「天下公」的な公共性の高い概念を基とすべしとし、儉約、勤勉、正直を説いています。読むたびに新たな発見があり、自分の考えやこれまでの経験が大きく揺さぶられ、世の中を見る広い視野が開けます。

永井 佐千子氏

一般社団法人世界マザーサロン 代表理事

ニュースレターでは、自由に、愉快地生きていく上で大切なことが、とてもシンプルな言葉でご説明いただいているので、ずっと心に入ります。第22回「教育とは何か」に書かれていた『道理が通る社会とは、より良く生きようとしている人の願いと努力が通ること』という言葉は、私自身の活動の目標となっています。田口先生の膨大な知識、ご経験をこれからの活動に積極的に活かしていきたいと思っております。

【田口佳史NEWS LETTER】

ご登録はこちら

アクセスできない場合は、下記URLをコピーしてください

<https://www.tao-club.net/newsletter/>